

厚生労働科学研究費補助金（免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 移植医療分野）
分担研究報告書

「コーディネーター教育機関設立に向けた指導指針の開発」

研究分担者 相川 厚 東邦大学医学部腎臓学講座 教授

研究要旨

日本における移植コーディネーター(Co)の教育機関設立に向けた指導指針の開発のために、レシピエントCoだけでなく将来設立されると考えられるドナーCoの筆記試験の出題範囲および内容について、現在行われている日本での研修を分析した。今回新たに作成した、Coが習得すべき項目と研修の種類と必要な時間を明記した指導指針により行われた研修後の受講者の評価及び満足度は高く、指導指針の確立には、評価であるテストの内容および講義、演習の内容が重要であり、今後の指導指針作成に参考になると考えられる。

A. 研究目的

レシピエント移植コーディネーター(Co)認定合同委員会にて、認定レシピエント移植Coの移行措置は平成24年で終了し、平成25年からは、新規認定レシピエント移植Coの認定には、書類審査のほか筆記試験および口頭試問が課せられるようになる。指導指針には評価の項目も含まれているため、今回はレシピエントCoだけでなく将来設立されると考えられるドナーCoの筆記試験の出題範囲および内容についても検討した。

B. 研究方法

筆記試験の出題範囲および内容を過去5年間の日本移植コーディネーター協議会(JATCO)総合研修会終了後の試験問題165題の内容を分析した。さらに第11回JATCO総合研修会での講義、演習内容についてレシピエントおよびドナーCoの共通項目、レシピエントCo関連、ドナーCo関連に分類し検討した。

C. 研究結果

試験問題の内容別問題数(数字は問題数)

1. 臓器移植総論 (10問)
臓器移植の歴史、最初に成功したヒトの臓器移植について 1
日本及び世界の臓器提供の現況 4
臓器移植の倫理 1
臓器移植に関する法律と原則 3

各臓器移植の生着率 1

2. 日本の臓器の移植に関する法律(8問)

- 臓器移植法 5
- 脳死判定 1
- 死亡宣告 1
- 親族優先提供 1

3. 倫理(12問)

- 生命倫理学 3
- 脳死 1
- 看護師職業倫理 1
- 贈与の文化 2
- 生体ドナー 1
- レシピエントへの情報提供 1
- 移植Coの態度 1
- 日本移植学会倫理指針 2

4. 脳死下における臓器提供のプロセスと

- コーディネーション(6問)
- ドナー移植Coの役割 3
- 脳死下臓器提供のプロセス 3

5. 移植Co概論(10問)

- 親族優先提供 1
- 組織移植に関する法律 1
- ドナー移植Coの役割 2
- 移植Co 2
- 臓器移植の歴史 1
- レシピエント移植Coの役割 3

6. 医療費と社会福祉制度 (10問)

保険医療の適応 3
移植用臓器の搬送費 1
移植医療費 4
臓器提供に係る経費 2

7. 面接技術 (10問)

面接技術 3
バーバルコミュニケーション 1
ノンバーバルコミュニケーション 2
医療面接 1
患者への説明 1
アドヒアランス 1
医療者間のコミュニケーション 1

8. 脳死判定 (10問)

脳死判定 8
脳幹反射 1
無呼吸テスト 1

9. 移植の適応と基準 (10問)

生体ドナーの適応 1
レシピエントの適応基準 3
死体からの移植希望の登録方法 2
移植医療費 1
臓器移植の現状 1
臓器移植の術後管理 1
移植実施施設基準 1

10. 移植免疫と感染症 (15問)

免疫抑制 2
移植後感染症 9
拒絶反応 1
GVHD 1
HLA 1
血球貪食症候群 1

11. 移植に用いる薬剤 (10問)

免疫抑制薬 3
併用禁忌、注意の薬剤および食べ物 3
TDM 2
投与方法 2

12. 心臓移植 (10問)

適応条件 1
レシピエントの状態 2
人工心臓 1
拒絶反応 1

冠動脈病変 1

移植後生活指導 1
移植前ケアと管理 2
小児 1

13. 肺移植 (10問)

適応基準 3
虚血時間 1
レシピエント選択条件 2
生体ドナー 1
移植後管理 1
急性拒絶反応 1
感染症 1

14. 肝臓移植 (10問)

生体ドナー 2
登録基準 1
適応基準 1
移植前の対応 1
移植後の管理 1
手術 1
小児 2
劇症肝炎 1

15. 腎臓 (13問)

腎移植の現況 2
ドナーの適応 2
手術 1
Co業務 1
生体腎移植 2
腎移植後の管理 2
免疫抑制 1
腎移植一般 2

16. 膵臓 (6問)

膵移植一般 3
移植後管理 1
ドナー 1
Co業務 1

17. 小腸 (5問)

小腸移植一般 1
短小腸 1
ストーマ 1
術後管理 2

第 11 回 JATCO 総合研修会での講義、演習の項目別分類（レシピエント Co とドナー Co の共通項目、レシピエント Co 関連項目、ドナー Co 関連項目）

● 共通項目

(WHO guiding Principle, 移植臓器生着率、イスタンブール宣言、臓器売買、日本及び世界の臓器移植の現況)、2. 臓器移植の法律(脳死、心停止下腎臓摘出、親族優先提供、ドナー家族の承諾)、3. 移植に関する倫理(人格主義生命倫理、脳死下臓器移植、意思決定) 4. 脳死下臓器提供のプロセスとコーディネーション(ドナー Co の対応)、5. 移植 Co 概論(レシピエント Co の役割と介入、ドナー Co の役割、移植 Co に関する法律、6. 移植に関する医療費(移植医療費、臓器摘出の医療費、提供施設への費用配分)、7. 面接技術、8. 脳死のメカニズム(脳死判定基準)

● レシピエント Co 関連

1. 面接技術～理論と演習～、2. 移植免疫と感染症(移植後感染症、拒絶反応)、3. 移植に用いられる薬剤(免疫抑制薬、TDM)、4. 医療社会福祉制度、5. 各論(腎臓、肝臓、心臓、肺、小腸の各臓器または多臓器移植)

● ドナー Co 関連

1. 面接技術～理論と演習～、脳死のメカニズムと脳死判定、2. 救急医療の終末期における臓器提供、3. グリーフケア、4. ドナーの適応と禁忌、5. ドナーの管理と摘出手術、6. 心停止下における臓器提供のプロセス、5. 病院管理、6. 組織移植

D. 考察

試験問題 165 問のうち内容別に特に多く出題された問題を検討すると、日本および世界の臓器提供の現況、臓器移植に関する法律と原則、臓器移植法、生命倫理学、日本移植学会倫理指針、ドナー移植 Co の役割、脳死下臓器提供のプロセス、レシピエント移植 Co の役割、保険医療の適応、移植医療費、面接技術、脳死判定、レシピエントの適応基準、登録方法、移植後感染症、免疫抑制薬、併用禁忌、注意の薬剤お

よび食べ物で、3 回以上この内容について問題が作成されていた。臓器別では心臓、肺では適応基準、レシピエント選択条件、肝臓、腎臓では生体ドナー、ドナーの適応、移植後の管理の問題が多く出題されていた。

第 11 回 JATCO 総合研修会での講義、演習のすべての項目に対して、試験問題が作成されていた。講義演習における参加者の満足度は参加者の 92%が満足と答えており、自分の目的に合っていたかの質問に対して、参加者の 90%は合っていたと答えており、講義演習の評価は高かった(図 1)。また講義項目と講義者の質に対して、参加者の 95%、92%がそれぞれ適当であったと回答していた。第 11 回 JATCO 総合研修会は参加者にとって十分な研修ができていたと評価された。

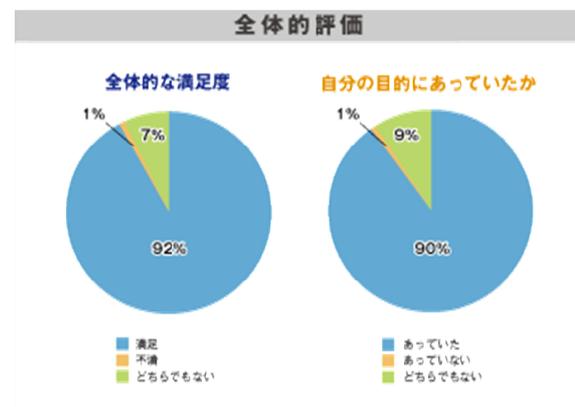


図 1 第 11 回 JATCO 総合研修会での参加者のアンケート調査結果
満足度および目的に合致していたかの質問に対する回答

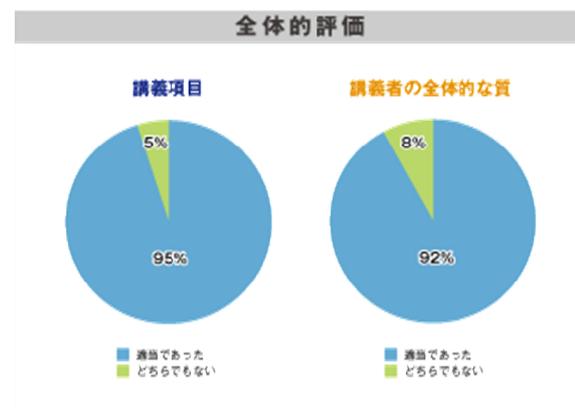


図 2 第 11 回 JATCO 総合研修会での参加者のアンケート調査結果
講義項目および講義者の質についての回答

E. 結論

指導指針の確立には評価であるテストの内容および研修の講義、演習の内容が重要であり、今後の指導指針作成に参考になると考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

G. 知的財産権の出願・登録取得状況(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案特許 なし
3. その他 なし